

- 02 特集  
学校教育の充実を目指して
- 04 全国学力・学習状況調査の結果
- 05 セルウィン訪問団 安芸高田市訪問
- 06 市長コラム
- 07 目次  
イベント情報
- 08 行政情報
- 11 国民年金のあれこれ  
新しい小学校が誕生します
- 12 上水道・下水道の今、そしてこれから
- 13 リレーコラム  
スノーボードスロープスタイル選手  
河野 柑奈さん
- 14 健康いいカラダ
- 16 いきいき介護  
子育てサークルに行ってみよう!
- 17 暮らしに役立つ制度紹介
- 18 第2回 広報あきたかた  
懸賞付きアンケート
- 21 ところがほっとする標語入賞作品発表
- 22 げんきな親子
- 24 保育所(園)・幼稚園・児童クラブ申込開始
- 26 としょもつ
- 28 歴史紀行
- 29 HOTな話題
- 30 消防
- 31 警察  
国保だより
- 32 トピックス/募集
- 33 およこび・おくやみ
- 34 12月の相談
- 35 安芸高田のアイドル

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎ お太助フォン 42-2111 (代)  
 八千代支所 ☎ お太助フォン 52-2111  
 美土里支所 ☎ お太助フォン 54-0311  
 高宮支所 ☎ お太助フォン 57-0311  
 甲田支所 ☎ お太助フォン 45-4111  
 向原支所 ☎ お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8:30~17:15  
 (土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市ホームページ  
<http://www.akitakata.jp>



12月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

12/1 心耕祭

☎ 八千代文化施設フォルテ (八千代町佐々井)  
 ☎ 13時~  
 ☎ 八千代人権福祉センター  
 ☎ お太助フォン52-7500

人と人が手を取り合って生きていけるまちを創るため、他人の考えに触れ、自分の心を振り返る機会として、人権週間前の週に開催されます。公募で集まった人権標語の授賞式のほか、玉城ちはるさんによるトーク&コンサート、八千代町内の小中学生が日常で感じた想いを発表する『青少年の声を聴く会』などが行われます。



12/2 八千代の丘美術館冬まつり

☎ 八千代の丘美術館 (八千代町勝田)  
 ☎ 八千代の丘美術館 ☎ 52-3050

今年度入館作家のラストシーズンの展示替えに伴い、一日限定無料開放を行います。入館作家による作品解説、作品鑑賞をお楽しみください。

■ギャラリートーク

☎ 13時15分~

☎ (A棟)展示室

■わくわくコンサート(ハッピーマリンバ)

☎ 10時30分~

☎ TOKUBETU企画展示室(H棟)



■ワークショップ

『絹でつくるイチゴちゃん』

~真っ赤な絞染で作るイチゴの細工物~  
昔から引き継がれた布を使って、かわいいイチゴをつくりませんか。

☎ 13時~15時

☎ 1,500円/1人

定員:10名

講師:安野克美さん

(古布ちりめん教室講師)

『手作り遊具であそぼう!』

『紙コップタワーに挑戦!』

☎ 無料

12/2 穴戸隆家生誕500年記念  
公開講座「穴戸司箭の実像を探る」

☎ クリスタルアージュ (吉田町吉田)  
 ☎ 13時30分~15時30分  
 ☎ 無料 ※要申込  
 ☎ 歴史民俗博物館 ☎ お太助フォン42-0070

東京大学史料編纂所准教授の末柄豊氏を講師に迎え、穴戸司箭の実像を探る公開講座を行います。

12/8 穴戸隆家生誕500年記念  
ロビートーク「前期穴戸氏を語る」

☎ 歴史民俗博物館 (吉田町吉田)  
 ☎ 14時~15時30分  
 ☎ 無料 ※申込不要  
 ☎ 歴史民俗博物館 ☎ お太助フォン42-0070

東広島市教育委員会の吉野健志氏によるロビートークを行います。



市民総ガイド構想

2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの外国人が日本を訪れます。日本を訪れる外国人は、オリンピックの開催地周辺の東京都圏のみならず、全国各地を周遊することが見込まれます。最近の外国人の日本の観光に対する趣向が、有名な京都・奈良の観光地を見て、一流のホテルに宿泊し、電化製品を土産にするこれまでのパターンから、地方の風景や生活様式、芸能や文化を鑑賞・体験し、田舎の旅館や民泊で宿泊する傾向になってきていると思われまます。本市には、毛利元就の居城郡山城(日本百名城)・甲立古墳の2つの国指定史跡や、伝統文化・芸能として、神楽・田楽があります。特に神楽については、市内22神楽団の協力による年間150日間の定期公演をはじめ、高校生の神楽甲子園、ひろしま安芸高田神楽東京公演を通じ、全国に魅力を発信し、皆様から好評を得ています。また、広島市を中心とする広域都市圏の神楽まち起こし協議会(会長安芸高田市市長)では、広島県の協力のもとメキシコ・ブラジル・フランス(パリコレ)など全世界に神楽を発信し

成果を得ているところがあります。宿泊についても、既存の旅館に加え、神楽門前湯治村・たかみや湯の森・エコミュージアム川根などの宿泊施設はもろろん、数多く点在する未利用施設のお寺・空家がありますので、これら魅力的な施設を活用することが大切と考えます。これまで外国人に意思を伝達する場合、英語・中国語・韓国語等の外国語を学ぶことが一般的でしたが、外国語を学ぶという事は、大変難しいことと思われまます。特に日本では、文法等の形式が重視され、外国語が活用できにくい現状であります。また、社会教育の一貫として、公民館活動等で市民向けに講座を開いても、外国語を使いこなせるまでには至っていません。そのような状況の中、2020年から新しい学習指導要領により、小学校で外国語(英語)が教科になります。いままでは1時間、聞く・話すを中心とした英語に慣れ親しむことを目的に5・6年生で実施していたことを3・4年生で実施することとし、5・6年生は新たに週2時間の外国語教科を新設し、体系的に教科



として学ぶこととなりました。一方で現状、多くの市民の皆様は、外国語に対して非常に抵抗があるように思われます。今後、市の活性化のためには、日本人・外国人のいかなる人に対しても、意思を相手に伝えていくことが大切であります。相手の顔を見て話すことや手紙などの手法については、これまで同様、原点として大切にしたいと思われまます。さらに私は、「市民総ガイド構想」と題して、たとえ語学が不得意であっても、身振り手振りで相手に意思を伝える「原体験」、スマホの「翻訳機能の活用」を通して市民の皆様が全員ガイドとして、ご活躍いただけます。